

第3年次*組 平成*年*月*日 (*)*校時		国語科現代文A学習指導案 3年次2組教室	指導者 大高 晃平
育成する国語の能力	文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、社会について考察する能力		
単元名	随筆を読むことを通して、生き延びる力について考察する		
単元目標	○文章の書き手の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索しようとする。 (関心・意欲・態度) ○文章の書き手の意図を捉え、自らの実生活を踏まえながら社会について考察し、自分の意見をまとめることができる。 (読む能力) ○語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすることができる。 (知識・理解) ([伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] の(1)のイ(イ))		
単元の評価規準	関心・意欲・態度 文章の書き手の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索しようとしている。	読む能力 文章の書き手の意図を捉え、自らの実生活を踏まえながら社会について考察し、自分の意見をまとめている。	知識・理解 語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。
取り上げる言語活動	筆者の考えに対する自分の考えをまとめ、文章中の表現を根拠にして、具体例を踏まえた意見文を書く活動		
題材(教材)	内田樹『こんな日本でよかったです 構造主義的日本論』(二〇〇九年、文藝春秋)より一部抜粋		
単元(教材)について	(1) 生徒観：本校生徒は、今までの評論文の読解指導を通して、文章の要点を読み取る力は徐々に身についている。しかし、書き手の意図を考察し、本文の叙述に即して自分なりに解釈するまでには至ってはいない。 (2) 教材観：本教材は、内田樹氏が学生の進路活動(就職活動)に対して自身の考えを示した随筆である。「生き延びる力」という言葉は抽象的だが、就職や進学を控えた現代の高校生にとっては、「社会人として求められる力」と言い換えることが可能だと考える。生徒にとって喫緊の課題を扱っている文章なので、生徒の関心を引きやすい教材である。読解を通して、内容の理解を通して自分の進路観も含めた考察をさせることができると考える。 (3) 指導観：先に示した能力の育成のために、筆者の意図を問う発問をして文章の理解を促す。その上で、筆者の考えについて自分の考えをまとめて意見文を書かせる。さらに、文章の内容に鑑みて自らの実生活を振り返らせて、「生き延びる力」とはどのような行動として具現化するのかを考察させる。		
指導計画(学習計画)(全2時間)	主な学習活動 第1時 (1) 「生き延びる力とは何か」という問い合わせに対して自分の考えをまとめること。また、他者の意見も聞き、参考にする。 (2) 『人生はミスマッチ』を通読し、筆者の考え方を読み取る。		主な評価 <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせに対して主体的に考え、自分の意見をまとめようとしている。 (関心・意欲・態度) ・文章の書き手の意図を理解している。 (読む能力) ・語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。 (知識・理解) 第2時 (3) 『生き延びる力』を通読し、筆者の考え方を読み取る。 (4) (2)・(3)において読み取った筆者の考え方を踏まえて、自分の生活においてどのような行動をとればよいのか、具体例を考え、自分の意見をまとめること。

本時案(第2時)		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の書き手の意図を捉え、自らの実生活を踏まえながら社会について考察し、自分の意見をまとめることができる。 (読む能力) ○語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすることができる。 (知識・理解) 	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
1 前時の復習をする。	○生徒が前時の内容を復習できるような簡単な質問を投げかける。	
	「生き延びる力」の実社会における具体例を考察する	
2 『生き延びる力』を音読する。	○本時で扱う教材(プリント)を配付する。 ○何人か指名して音読をさせる。その際、重要語句の意味を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすることができる。 (知識・理解) (ノートの記述)
3 「コミュニケーションの際の姿勢」について考える。	○まずは、本文から筆者が高く評価する姿勢を抜き出すように指示し、次に高評価の理由を読み取らせ、ノートに記入させる。 ○記入後、何人か指名して発表させ、解答を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせに対して主体的に考え、自分の意見をまとめようとしている。 (関心・意欲・態度) (記述・発表の点検)
4 「生き延びる力」について考える。	○まずは、本文から該当箇所(「ディセンシー」)を抜き出すように指示し、その後に、それが生き延びるために必要な理由を考えさせ、ノートに記入させる。 ○記入後、何人か指名して発表させ、解答を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の書き手の意図を理解している。 (読む能力) (記述・発表の点検)
5 「社会で生き延びるために必要な行動」について考える。	○実生活における、生き延びるための具体的な行動例を考えさせ、ノートに箇条書きで記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> (例)職場の人と仲良くする、どんな仕事にも楽しく取り組む、挨拶をする、敬語を用いる、形式を守って礼状を書く、年賀状を出す。など </div> ○記入後、何人か指名して発表させ、意見交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの実生活を踏まえながら社会について考察し自分の意見をまとめることができる。 (読む能力) (記述・発表の点検) <p style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 努力を要する生徒への手立て なかなか具体例を挙げられない生徒には、普段親や教員から指導されることを振り返らせる。 </p>